

**製品名: NUFIP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14974**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                     |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。            |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 76kDa                                |

**抗原情報**

|              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名         | NUFIP2 KIAA1321 PIG1             |
| 別名           |                                  |
| 遺伝子 ID       | 57532.0                          |
| SwissProt ID | Q7Z417                           |
| 免疫原          | ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 180~260 |

**背景**

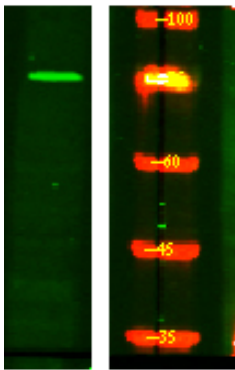
機能: RNA に結合します。PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。細胞内局在: 分布は細胞周期によって制御され、G2/M 期には細胞質内に存在し、G1 期には核に蓄積します。サブユニット: FMRP と相互作用します。機

能: RNA に結合します。 ,PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。 ,細胞内局在: 分布は細胞周期によって制御され、G2/M 期には細胞質内に存在し、G1 期には核に蓄積します。 ,サブユニット: FMRP と相互作用します。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。